

ごみ処理の現状について

1 東海市及び知多市の分別区分

両市の分別区分は、表1-2-1のとおりです。

大きな違いは、プラスチック類の取扱いで、東海市では資源として「プラスチック製容器包装」及び「硬質プラスチック」を回収しています。

知多市では、ガス化溶融炉による熱回収（サーマルリサイクル）を導入しているため、プラスチック類を資源としては回収していません。

表 1-2-1 分別区分

分別区分	東海市		知多市		
	種類	排出方法	種類	排出方法	
可燃ごみ	生ごみ、紙製品、プラスチック製品（資源化できないものに限る。）	東海市指定袋	生ごみ、紙製品、プラスチック製品（資源化できないものに限る。）	知多市指定袋	
不燃ごみ	金属製品、ガラス製品（資源化できないものに限る。）	東海市指定袋	金属製品、ガラス製品（資源化できないものに限る。）	知多市指定袋	
粗大ごみ	家具、布団、カーペット、自転車、ストーブなど	粗大ごみシール直接搬入戸別収集	家具、布団、カーペット、自転車、ストーブなど	直接搬入戸別収集	
資源	新聞	新聞、折込チラシ	新聞、折込チラシ	束ねる	
	段ボール	段ボール	段ボール	束ねる	
	雑誌	本、カタログなど	束ねる	本、カタログ、包装紙、菓子箱など	
	雑紙	包装紙、菓子箱など	束ねる		
	紙パック	飲料用紙パック	束ねる	飲料用紙パック	束ねる
	布	布、衣類	束ねる	衣類	束ねる
	アルミ缶	アルミ缶	東海市指定袋回収袋	アルミ缶（飲料用）	コンテナ
	スチール缶	スチール缶		スチール缶（飲料用）	コンテナ
	ペットボトル	ペットボトル	東海市指定袋回収ネット	ペットボトル	コンテナ
	ペットボトルキャップ	ペットボトルキャップ	東海市指定袋専用回収容器	ペットボトルキャップ	直接持ち込み
	一升びん	一升びん	コンテナ	一升びん	コンテナ
	ビールびん	ビールびん		ビール大びん	
	無色びん	無色びん		無色びん	
	茶色びん	茶色びん		色付びん	
	その他色びん	その他色びん			
	プラスチック製容器包装	プラスチック製容器包装（食品用トレイを含む）	東海市指定袋回収袋		
	食品用トレイ			食品用トレイ	トレイ専用バッグ
	てんぷら油	てんぷら油	回収容器	てんぷら油	コンテナ
乾電池	乾電池	回収箱			
使用済みインクカートリッジ	指定製品の使用済みインクカートリッジ	専用回収箱	指定製品の使用済みインクカートリッジ	専用回収箱	
小型家電	パソコン、デジカメ、プリンター、扇風機、掃除機等の家庭用電化製品など	直接持ち込み	パソコン、デジカメ、プリンター、扇風機、掃除機等の家庭用電化製品など	直接持ち込み	
硬質プラスチック製品	ポウル、バケツ等のプラスチックだけでできている製品（少量の金属は可）	直接持ち込み			

※網掛けは両市で分別が大きく異なる部分を示す。

2 東海市及び知多市の処理体制

両市の処理体制は、表 1-2-2 のとおりです。

処理体制を比較すると、収集運搬体制及び可燃ごみの中間処理体制に違いがあります。

表 1-2-2 処理体制

		東海市	知多市
収集運搬体制 (家庭系ごみ)	可燃ごみ	委託	直営及び委託
		ステーション方式	ステーション方式
	不燃ごみ	委託	直営及び委託
		ステーション方式	ステーション方式
	粗大ごみ	直営及び委託	直営
		ステーション方式(委託) 戸別方式(直営)	戸別方式
資源	直営及び委託	直営及び委託	
	ステーション方式(委託) 拠点回収	地域回収	
中間処理体制	可燃ごみ	焼却 ⇒ 灰溶融	ガス化溶融
	不燃ごみ	破碎・選別	破碎・選別
	粗大ごみ		
	資源	紙類：保管 布類：保管 缶類：選別、保管等 びん類：選別、保管 ペットボトル：梱包、保管 プラスチック製容器包装：保管 食品トレイ：上記に含む 廃油：保管 小型家電：保管 硬質プラスチック：保管	紙類：梱包、保管 衣類：梱包、保管 缶類：選別、梱包、保管 びん類：選別、保管 ペットボトル：梱包、保管 食品トレイ：保管 廃油：回収業者 小型家電：保管
最終処分体制	スラグ等：資源化 焼却飛灰：埋立 溶融飛灰：資源化	スラグ等：資源化、埋立 溶融飛灰：埋立	

※網掛けは両市で体制が大きく異なる部分を示す。

※事業系ごみは自ら施設へ搬入するか許可業者の委託によってのみ搬入される。

3 ごみ量等の現状

(1) 愛知県内の平均値との比較

1人1日当たりのごみ（資源を含む）排出量を愛知県内の平均値と比較すると、東海市及び知多市はいずれも県内平均値より少なくなっています。

ごみ排出量の内訳を見ると、家庭系ごみ量では東海市が県内平均値より少なく、事業系ごみ量では知多市が県内平均値より少なくなっています。

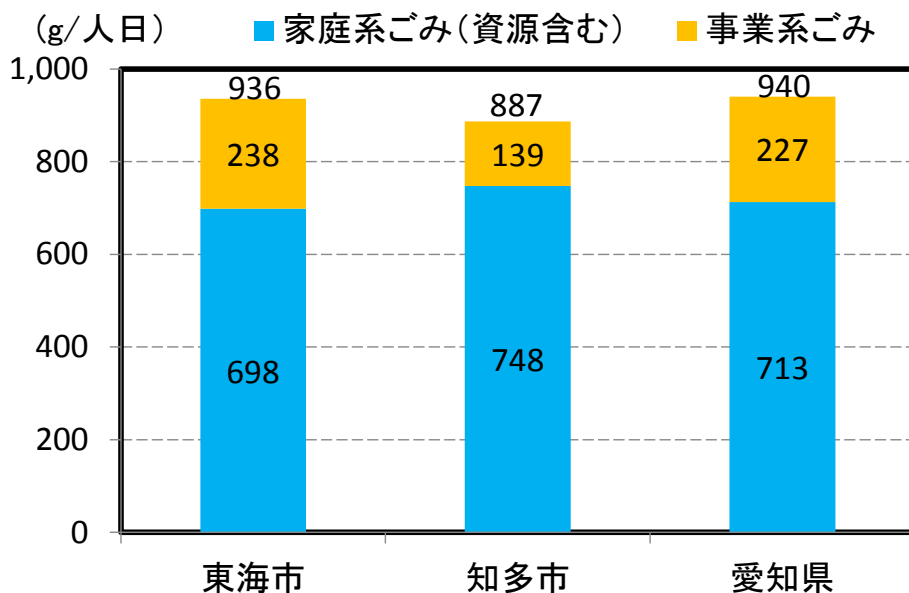


図 1-2-1 1人1日当たりのごみ（資源含む）排出量（平成25年度）

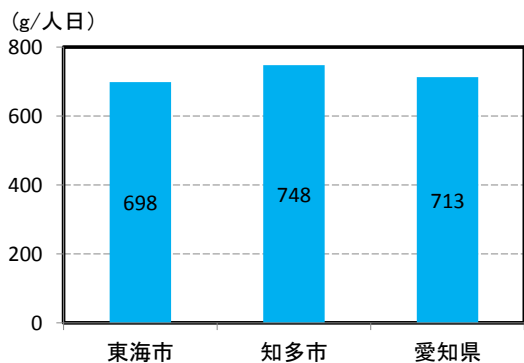


図 1-2-2 1人1日当たりの家庭系ごみ量
（資源含む）

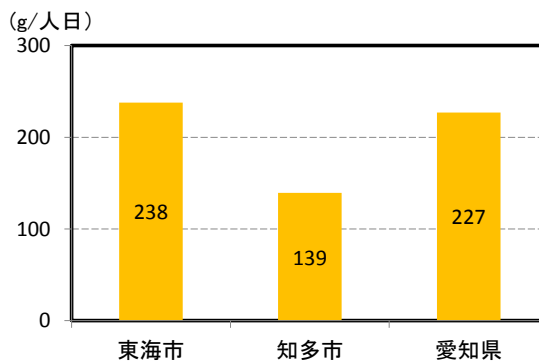


図 1-2-3 1人1日当たりの事業系ごみ量

出典：一般廃棄物処理実態調査結果

1人1日当たりの資源化量のうち、資源として回収している量を愛知県内の平均値と比較すると、東海市及び知多市はいずれも県内平均値を下回っています。

また、ごみ処理過程で発生する量については、ごみの処理方式の影響が大きいため、単純な比較はできませんが、東海市では県内平均値を上回っています。

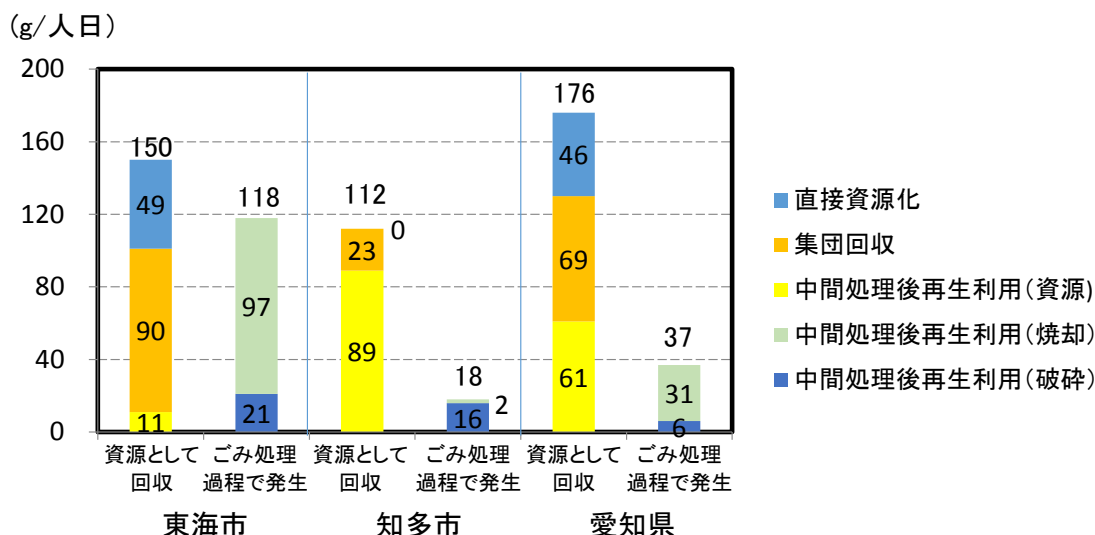


図 1-2-4 資源化量 出典：一般廃棄物処理実態調査結果

これまでの県内平均値との比較に用いた一般廃棄物処理実態調査結果に基づく平成25年度の実績値を表1-2-3に整理します。

表 1-2-3 平成25年度実績値

		東海市	知多市	愛知県
人口	(人)	112,184	85,795	7,494,346
ごみ総排出量	(t/年)	38,334	27,769	2,572,076
	(g/人日)	936	887	940
家庭系ごみ(資源含む)	(g/人日)	698	748	713
事業系ごみ	(g/人日)	238	139	227
資源化量	(t/年)	10,969	4,068	583,973
	(g/人日)	268	130	213

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（平成25年度）
 【ごみ総排出量及び1人1日当たりの排出量】
 ごみ処理の概要 ごみ総排出量及び1人1日当たりの排出量
 【家庭系ごみ及び事業系ごみの1人1日当たりの排出量】
 ごみ処理の概要 1人1日当たりの排出量 生活系ごみ及び事業系ごみ
 【資源化量】
 ごみ処理の概要
 直接資源化量+集団回収量+中間処理後再生利用量

(2) 現行ごみ処理基本計画等の目標値に対する達成状況

両市のごみ処理基本計画の目標値等との比較結果が表 1-2-4、1-2-5 です。目標値の設定年度に違いがありますが、平成 25 年度時点で既に達成している目標値に網掛けをしています。

表 1-2-4 東海市の実績とごみ処理基本計画等の目標値

	ごみ総排出量 (資源含む)		家庭系ごみ量 (資源含む)		事業系 ごみ量
	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/日)
東海市の実績値(H25年度)	38,334	936	28,593	698	26.69
ごみ処理基本計画目標値 (目標H32年度)	39,017	943	29,490	715	26.10
愛知県の実績値(目標H28年度)	38,735	-	-	-	-
廃棄物処理法に基づく基本方針 目標値(目標H27年度)	41,602	-	-	-	-
循環型社会形成推進基本計画 目標値(目標H32年度)	-	830	-	-	18.16

※網掛けは H25 実績において前倒しで達成済みの目標値

出典：

【東海市の実績値】一般廃棄物処理実態調査結果 H25 年度より算出

【基本計画目標値】第 3 次東海市ごみ処理基本計画 4-19 ページ～4-21 ページより算出

【愛知県の実績値】一般廃棄物処理実態調査結果 H20 年度より算出

【廃棄物処理法に基づく基本方針目標値】一般廃棄物処理実態調査結果 H19 年度より算出

【循環型社会形成推進基本計画目標値】一般廃棄物処理実態調査結果 H12 年度より算出

表 1-2-5 知多市の実績とごみ処理基本計画等の目標値

	ごみ総排出量 (資源含む)		家庭系ごみ量 (資源含む)		事業系 ごみ量
	(t/年)	(g/人日)	(t/年)	(g/人日)	(t/日)
知多市の実績値(H25年度)	27,769	887	23,413	748	11.93
ごみ処理基本計画目標値 (目標H39年度)	27,721	856	22,940	708	10.79
愛知県の実績値(目標H28年度)	29,845	-	-	-	-
廃棄物処理法に基づく基本方針 目標値(目標H27年度)	31,630	-	-	-	-
循環型社会形成推進基本計画 目標値(目標H32年度)	-	834	-	-	16.62

※網掛けは H25 実績において前倒しで達成済みの目標値

出典：

【知多市の実績値】一般廃棄物処理実態調査結果 H25 年度より算出

【基本計画目標値】知多市ごみ処理基本計画 45 ページ、65 ページより算出

【愛知県の実績値】一般廃棄物処理実態調査結果 H20 年度より算出

【廃棄物処理法に基づく基本方針目標値】一般廃棄物処理実態調査結果 H19 年度より算出

【循環型社会形成推進基本計画目標値】一般廃棄物処理実態調査結果 H12 年度より算出

(3) 両市のごみ量の推移

国の循環型社会形成推進基本計画の基準年度である平成12年度から平成25年度までのごみ量の推移を図1-2-5、1-2-6に示します。

両市ともに、平成19年度以降は減少傾向にあります。

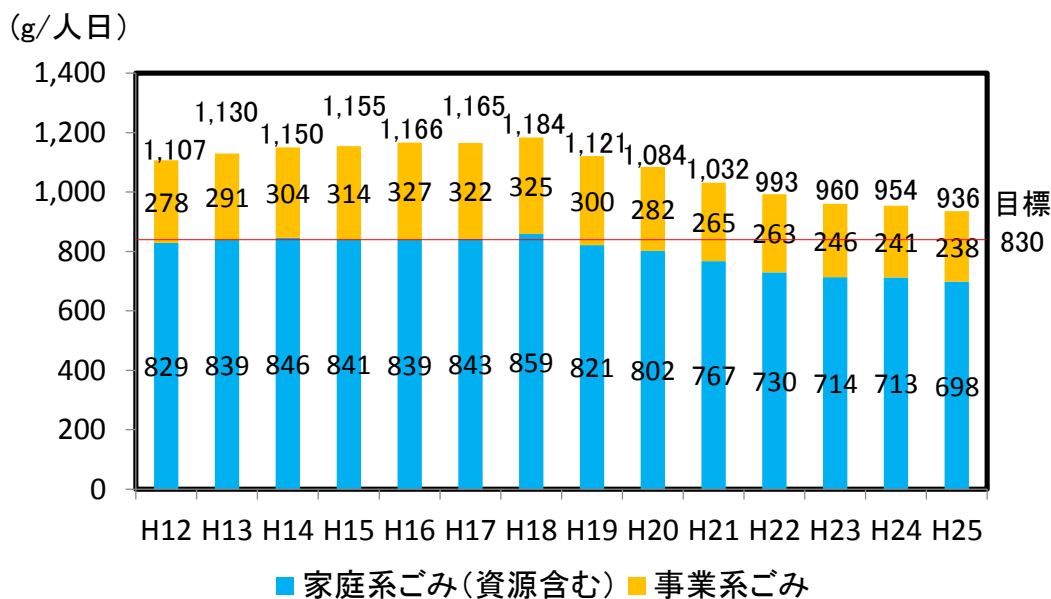


図 1-2-5 東海市ごみ量の推移

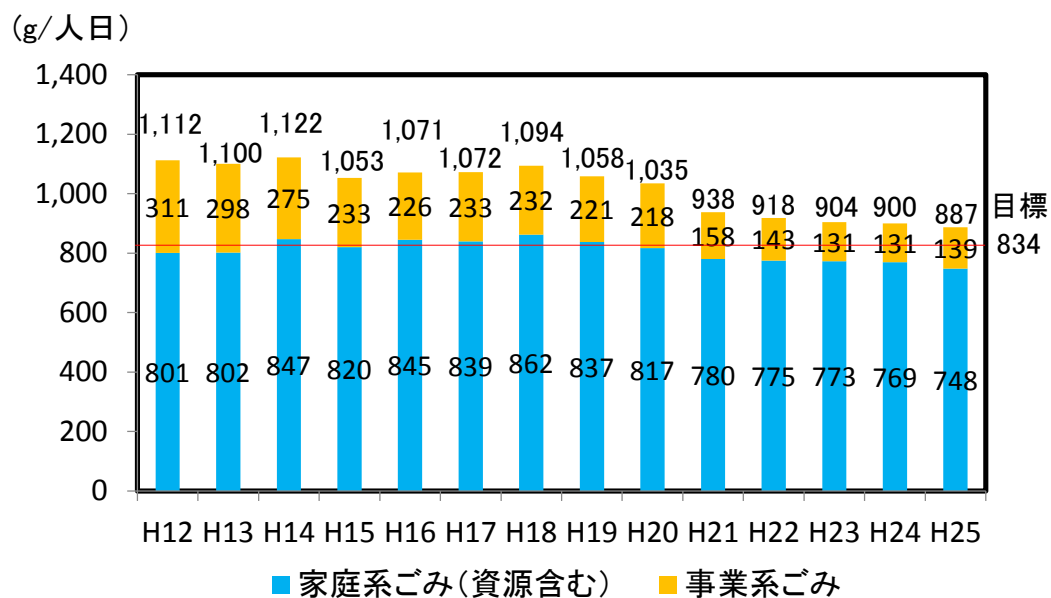


図 1-2-6 知多市ごみ量の推移

※目標は循環型社会形成推進基本計画の目標値（H12比25%減）

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（人口は外国人含む、家庭系ごみは集団回収含む）